

ジャカルタにおける都市型農業の発展



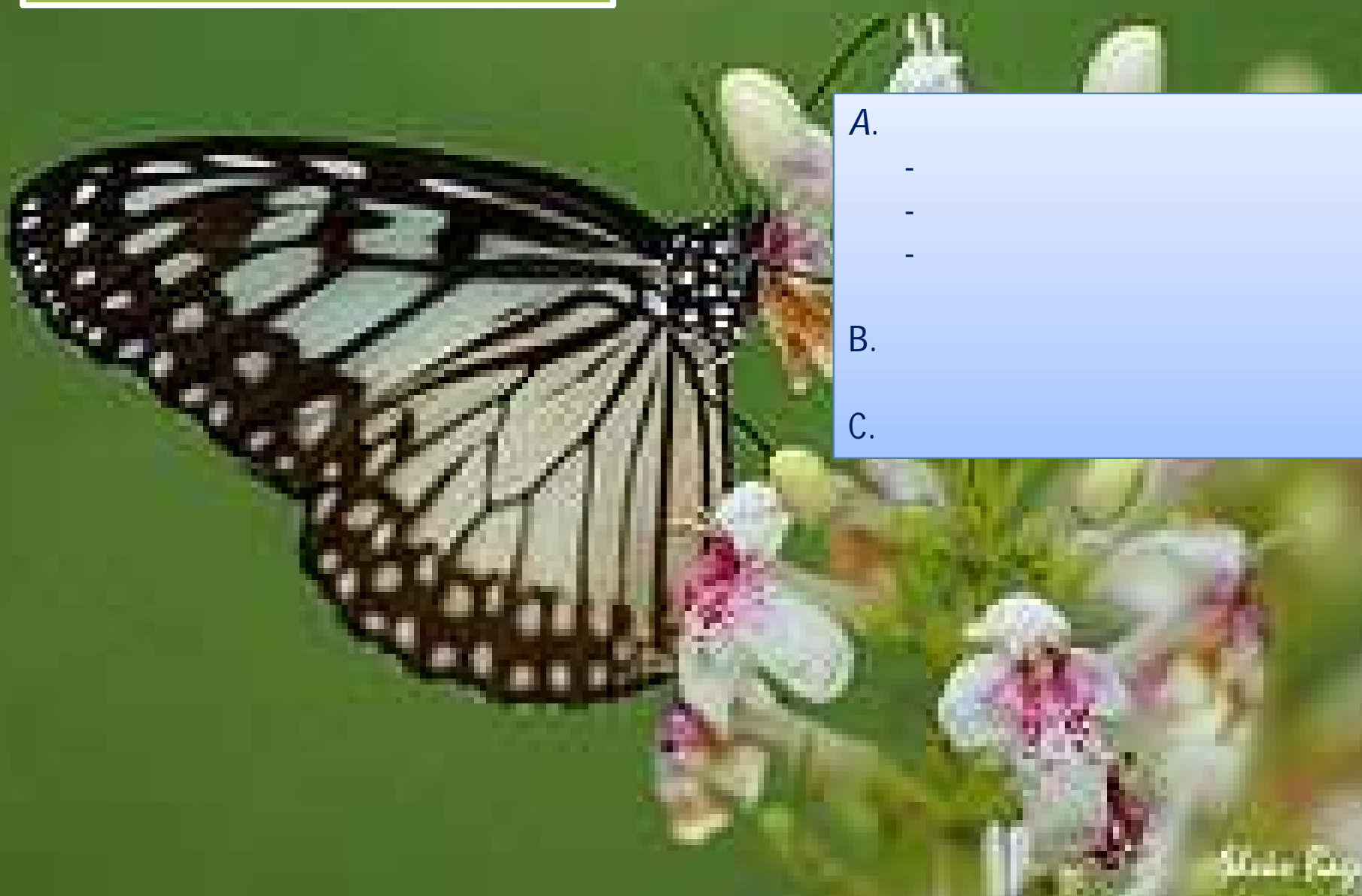
ディア・メイディアンティ
世界都市農業サミット(東京)

2019

課題

- ❖ ジャカルタ特別州における急速な人口増加
- ❖ 食料需要の高さ
- ❖ 土地転用(農地転用)によって、現在残っている田畑は約500ヘクタール
- ❖ ジャカルタ市は、気候変動と災害の脅威に対して脆弱
- ❖ 年間5 ~ 10 cmの地盤沈下
- ❖ 貧困層における食糧不安のリスク

政策

- 
- A monarch butterfly with its wings spread, perched on a pink flower. The background is a soft-focus green field of similar flowers.
- A. 地域社会の食料需要を満たす
 - 食品の調達量
 - 食品へのアクセス
 - 食品の安全
 - B. 環境品質の向上
 - C. 地域社会(コミュニティ)の強化



- **ジャカルタにおける都市型農業規制**
 - **ジャカルタ特別州知事令2018年第1号**
ジャカルタ特有の栽培植物の植付及び保全について
 - **ジャカルタ特別州都市型農業概要2018～2030年**
 - **ジャカルタ特別州知事令2018年第14号**
(2018年1月31日付)
都市型農業の実施について
 - **標準業務手順書 (SOP)**
ジャカルタ特別州における「緑の小道」開発



- **戦略**
 1. 政策の強化
 2. 都市型農業の実施(栽培・加工・販売・教育・連携)
 3. 環境保全
 4. モニタリングと評価の実施及び知識の管理

対象：

1. 集合住宅
2. 空地
3. 庭・路地
4. 学校
5. 企業ビル・ショッピングモール
6. 子ども向けオープンパブリックスペース (RPTRA)



都市型農業の目標



1

**生産的な緑の広場を最低でも
30%増加**

2

**農業・畜産業・水産業の(加工
品を含む)生産量30%増加**

3

**農産物・畜産物・水産物の加工
品に対して1000品以上の認証**

ジャカルタにおける都市型農業の課題と障害：

- 法規制と土地面積
- 太陽光の供給・大気循環・重金属汚染
- 生産プロセスや販売方法から事業者及び団体の組織化にわたって、技術面における知識や能力の不足

“これらの課題と障害に対処するためにジャカルタでの都市型農業でやるべきことは、水耕栽培技術を用いた緑の小道プログラムの実施である”



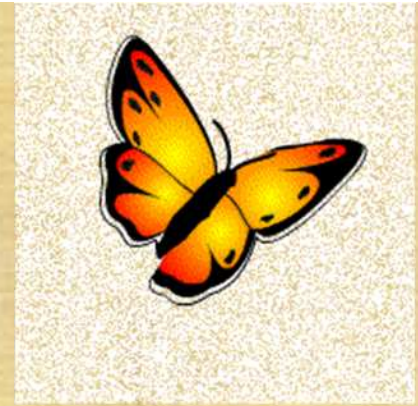
緑の小道の定義：

緑の小道は、都市部の住宅地に景観の美しさと有益さを兼ね備えて整備された路地もしくは小道のことで、様々な種類の食用植物と家庭薬用植物 (TOGA) が植えられている。

緑の小道のメリット：

1. 緑の小道の管理者を主として、家庭や地域社会レベルにおける食料及び医薬品 (ハーブ) の調達量を拡大することで、都市部社会の食料安全保障を強化する
2. 汚染されていない健康的な食材の提供、家庭有機廃棄物の肥料や食材媒体としての活用、植物による酸素生成と二酸化炭素吸収を通じて、居住環境がより涼しく、美しくなることによる地域社会及び環境の衛生状態改善
3. 経済的に利益をもたらす様々な活動を通して、各家庭及び地域社会レベルにおける経済成長を促進する





- **緑の小道プログラムの実施状況**
- **2016年 = 緑の小道150本**
- **2017年 = 緑の小道77本**
- **2018年 = 緑の小道160本**
- **2019年 = 緑の小道160本**
- **2020年 = 緑の小道160本**

緑の小道プログラムの実施状況

緑の小道プログラムの実施者：

- ❖ 緑の小道の近隣に居住している個人もしくは団体に、家庭や地域社会に利益をもたらす路地及び小道を築こうという展望と使命を持つ人々



栽培植物の種類

- ❖ サツマイモ、シンコン(キャッサバ)、サトイモなど炭水化物源となる食用植物
- ❖ ほうれん草、空心菜、白菜、チンゲン菜、ケール、赤ほうれん草、からし菜、カイラン菜、レタスなど葉物野菜
- ❖ 唐辛子、ナス、トマト、ゴーヤ、トカドヘチマ(オヨン)、瓜、エシャロット、ネギなど果菜類
- ❖ クミン、ツボクサ、コリウス(赤紫蘇)、バンウコンなどハーブ植物

この(都市型)農業には、鳥類、ウサギ、ヤギ、魚などの畜産業と水産業も含まれる。



緑の小道









THANK YOU

